

晩秋の日差しを受け、きらめく人工雪＝30日午前、
神戸市灘区六甲山町北六甲（撮影・田中靖浩）

NEXTに
動画



神戸市灘区の人工スキーパーク「六甲山スノーパーク」で30日、造雪作業が始まった。秋が深まる六甲山に早くも雪が舞い、12月5日のオープンに向けて白銀の世界が着々と出来上がっていく。

同パークの広さは約3万7千平方㍍。三つのゲレンデのほか、雪そりや雪遊び専用の「スノーランド」を備える。造雪作業では、製氷機で直径0・5～1㍍程度に砕かれた氷がパイプか

一足お先に雪景色

神戸・六甲山スノーパーク

ら勢いよく吹き出し、ゲレンデ上の秋空に舞つた。製氷機2台を使って1日220㌧の人工雪を整備。オープン前日までに計約7920㌧を積もうとする。

広報担当の野口竜太郎さん（24）によると、訪日外国人観光客にも人気が出始めているといい、「ゲレンデの傾斜が緩やかで初心者にぴったり。幅広い年代に楽しんでほしい」とPRする。

（井上 駿）